



広報

第二十三号

二所ノ関



序ノ口		序二段										三段目						幕下		十両		幕内																												
西	5	西	4	東	89	東	77	西	61	東	55	東	45	東	39	東	35	東	28	西	10	西	66	東	60	東	25	西	21	東	20	東	16	東	29	西	7	西	7	東横綱										
山	田	住	吉	林	龍	西	勢	郷	足	立	総	勢	山	内	間	阿	見	大	心	滝	谷	貴	正	道	田	中	今	村	谷	口	羅	漢	児	麟	虎	古	田	藤	宗	麒	麟	龍	花	の	海	白	熊	大	の	里
2	6	5	2	全	休	2	5	1	6	3	4	5	4	3	2	5	3	6	1	6	5	2	3	4	4	3	2	休	0	1	6	3	4	3	5	2	6	9	4	11	4									

序ノ口		序二段										三段目						幕下		十両		幕内																												
西	18	東	10	西	96	西	94	東	79	東	72	東	66	西	59	西	57	東	10	西	4	東	76	西	70	西	36	西	27	西	7	西	60	東	34	東	15	西	3	西	横綱									
林	龍	山	田	西	勢	郷	足	立	総	勢	山	滝	谷	阿	見	大	心	住	吉	田	中	内	間	貴	正	道	谷	口	古	田	今	村	藤	宗	麟	虎	羅	漢	児	麒	麟	龍	花	の	海	白	熊	大	の	里

十一月場所結果

一月場所新番付

大の里 無念の初休場

序盤から圧勝の取り口で連勝、連霸についても固いところかと思われた。思わず連敗もあったが、勢いのある安青錦との直接対決にも勝利、いよいよ優勝に向けてラストスパートというところでアクシデントは起きていた。肩の負傷で残念な千秋楽休場。綱の責任を感じ、直前まで出場にむけて準備をしたが、師匠と相談して休場決意となった。まだまだ長く横綱を張る為に、そして師匠の経験にも基づいて、将来を見据えた英断。12月は巡業も休場し、治療に専念。部屋でじっくり基礎鍛錬に励んだことで身体も一回り大きくなっている。新年も大相撲の第一人者として君臨するためにも、入門以来初めて味わった屈辱を大きな糧にしてジャンプアップする。



二所ノ関親方の総評コーナー！

1年納めの九州場所、まずは大の里です。前半こそ内容も良く、今場所も優勝してくれるかなと思って見ていきましたが、怪我の為休場で終わってしまいました。テープングや痛み止めで騙しての強行出場は出来たかもしれません、苦渋の決断でした。将来の事を考えて良い決断だったと思いますし、そう思える相撲人生にしてもらいたいです。白熊は少しずつ勢いが出てきました。内容にも進歩が見られ、良い場所だっと思います。しかし、1年で見ると怪我もあり、山あり谷あり。年間を通して安定した相撲を取れるのが強い力士です。その場所だけではなく、常に良い状態を持続出来るように。新年に期待しています。若い力士達では幕下2人が壁に当たりました。もっと地力を付けることが必要です。全体的に苦戦が続く中で、地元九州出身の2人が頑張りました。羅漢児は三段目上位で5勝。1月は幕下に上がりそうです。元々動きにセンスがあり、前にも攻めれるようになってきました。動きの良さという取り柄をとことん磨くのも面白いかもしれません。内間も5勝です。何が良かったのか、これを精査して前に出る相撲を追求してほしい。そうすればすぐに番付は上がっていきます。年間を総括しますと、大の里的横綱昇進で、部屋創設からの夢が叶いました。しかし、それ以下の力士がまだ続いているのが心残りです。来年は大化けする力士を1人でも多く育てる。これを目標にして全体のレベルアップを目指します。今年多くの方々にご声援いただきました。ありがとうございました。来年は更に上を目指して頑張ります。令和8年もどうぞよろしくお願いいたします。

白熊 連続勝ち越しで再入幕へ足固め

久々の勝ち越しを決めた9月に続き連続勝ち越し。場所前から基礎鍛錬に進んで取り組み好調を維持。また二所ノ関親方からの指導で、得意の右四つ以外にも、左四つでの稽古も繰り広げた。初日から効果はてきめん。得意の形になれなくても、どんどん攻める相撲で完勝が多くなった。1月は再入幕待ったなしのところまで番付を戻す。早く幕内定着し、新年こそは大の里的土俵入りで太刀持ち、露払いを務めてほしい。



羅漢児 新幕下昇進！！

弓取式で沸かせる羅漢児が5勝。見事に新幕下昇進を決めた。大分県中津市出身で、11月はご当所。家族が応援にきた日にもしっかりと白星を掴んで、親孝行も出来た。得意の右廻しからの攻めに加えて、長い腕を伸ばした突き押しも出て、攻撃的な相撲が目立った。弓取効果で人気も出てきたが、「相撲で目立ちたい」と本人が日々思っていることが土俵に現れていた。この前に攻める相撲が継続して取れれば、幕下でも通用するはず。弓取式同様に、相撲でも土俵を華麗に舞う姿にご注目。



大怪我からの再起へ

7月の林龍、11月の古田と膝の大怪我を経験。多くの皆様から心配のお声がけをいただきました。怪我をするということは、自分の身体や鍛錬方法に何かしらの狂いがあったということ。この怪我は自分を見つめ直すチャンスだと思って頑張ってもらいたい。怪我をする前より強くならなくては意味もない。

